

いぬなし青葉

令和6年2月15日

第23号

校長 山下英樹



山手中 HP

● 学校教育診断にご協力、ありがとうございました

2学期後半に行いました学校教育診断にご協力いただき、ありがとうございました。すべての項目やご意見について目を通し、校内の委員会で検討を行いました。すでに、自転車の乗り方や交通マナー等について生徒に指導し、部活動の予定をできる限り早めに知らせよう職員で確認するなど、内容によっては改善や対応を進めているものもあります。頂いたご意見全てに回答することは紙面の都合上できませんが、真摯に受け止め改善に努めてまいります。気になる内容がありましたら、学校までご連絡ください。アンケート結果および頂いたご意見について、複数よせられたものや主なものについて報告いたします。



【アンケート結果より】 P4にアンケート結果を掲載しました。

1. 昨年度に引き続き、H&Sを使って行いました。保護者の回収率は78%でした。昨年度は、質問に答えないと次の質問に進めない設定になっており、改善するよう複数の意見をいただきましたので、無回答でも次の質問に進めるよう、改善しました。
2. 保護者アンケートでは、4段階評価で3.0を超えている項目が19項目中16項目(昨年度は14項目)あり、本校の教育活動をおおむね評価していただいたものと受け止め、感謝申し上げます。今後もより良い教育活動が進められるよう、努力してまいります。
3. 保護者アンケートで高い評価をいただいた項目は、「情報発信の努力」で3.4でした。昨年度の3.3よりも0.1ポイント上がりました。昨年度から学校通信や学校ホームページ(以下、学校HP)を充実させ、学校の様子や生徒の活躍等を紹介してきました。その結果を評価していただいたものと受け止め、大変うれしく思います。この評価を励みとし、今後もできる限り発信していきたいと考えております。
4. また、保護者アンケートで高い評価をいただいた項目に、「充実した学校生活」があり、3.3でした。この項目の生徒アンケートの結果も高く、3.4でした。大変うれしく思います。今後も、どの生徒にとっても居心地がよく、仲間と協力しながら、学習や様々な活動に取り組める学校となるよう、努力してまいります。ただ、この項目に1や2をつけている生徒も数名おり、このことも頭に入れ、教育相談や日頃のコミュニケーションを丁寧に取りながら、教育活動を進めてまいります。
5. 保護者アンケートで「保護者や地域の人たちとの連携」の項目が、昨年度の2.9から0.2ポイント上がり、3.1となりました。昨年5月にコロナが5類になり、多くの制限がとれ、コロナ禍以前のように少しずつ戻りつつあります。例えば、体育祭も制限なく参観していただくことができました。文化祭は直前にインフルエンザが大流行したため、お子さまの学年に限りとはなりましたが、参観していただきました。PTAの協力により、体育祭と文化祭はYouTube配信をすることもできました。学校公開週間も各学期に設け、お昼の時間帯を除き、制限なく見ていただくようにしました。また、福祉体験教室や地区防災教室もたくさんの方にご協力いただき、実施することができました。このような取組を評価していただいたものと考えます。来年度も今年度と同様、学校を公開するとともに、地域との連携を密にしていきたいと考えています。お時間があれば、ご来校いただき、子どもたちの取組や頑張りにお声掛けいただきますよう、お願いします。
6. 保護者アンケートで2.8、教職員アンケートで2.5と一番低かった項目が、「学校施設・設備の環境整備、有効活用」です。施設の改修、改善については市教育委員会と常に連絡を取り合っています。その結果、今年度、いくつかの改修を行いました。階段のすべり止めを改修したり、トイレの洋式化を進めたり、教室等のすべての蛍光灯をLEDに交換し、曇りや雨の日でも黒板が明るく見やすくなりました。また、交差点での混雑が長年の課題でした。武道場北側に通路が新設されたことにより、下校時の混雑は少し改善されました。しかしながら、トイレの全面改修をはじめ、まだまだ改修および交換すべき施設や設備がたくさんあります。引き続き、市教育委員会と連携をとりながら、進めていきたいと考えています。

【生徒の活躍紹介】 ●バレーボール部の [] さんが、選抜チームの一員に選出され、2月23日(金・祝)に四日市市総合体育館で行われる第15回東海ブロックU14クラブチャンピオンシップ男子バレーボール大会に出場します。
●3年生の [] さんは、Rivere三重に所属し水球に取り組んでいます。1月に行われたJOC春季水泳競技大会東海ブロック予選に出場し、3位に入賞しました。

7. 「進路指導の充実」の保護者アンケートの結果は昨年度2.9と低い値でした。そこで今年度から3年生に配付している進路通信を1・2年生にもH&Sで配信するようにしました。その結果、3.0と0.1ポイント上がりました。学年別にみると3年生が3.2(昨年度3.0)、2年生が3.1(昨年度3.0)1年生が2.9(昨年度2.7)となっており、昨年度よりも評価していただいたものと捉えることができます。今後も、進学指導の情報だけに留まらず、生徒が将来の進路や職業について学習・体験した内容を、通信や学校HP等で周知していくようにします。
8. 「わかる授業」の生徒アンケートの結果3.4に対し、保護者アンケートの結果は2.8でした。また、「適切な評価」の生徒アンケートの結果3.4に対し、保護者アンケートの結果は2.9でした。生徒のアンケート結果と保護者のアンケート結果に大きなへだたりがあります。昨年度までも同じような結果であり、保護者への情報発信、情報提供が不足していると捉えています。学校HPで授業の様子など、積極的に発信してきましたが、まだまだニーズに応えられていないと反省しております。これからも積極的に情報発信を行っていきたいと思います。また、公開日等にぜひ、お気軽に学校へ来ていただき、授業の様子や学級の雰囲気などを見ていただければ幸いです。
9. 生徒アンケートの結果で3.4以上と大変高い結果を示した項目は、「学校づくりビジョンの実現に向けた努力」「わかる授業」「特色ある教育課程の編成」「道徳や人権・同和教育の充実」「適切な評価」「充実した学校生活」「生徒指導上の問題への対応」「教育相談等・生徒との関わり」「部活動の充実」「自立した社会性の育成」「体力の向上・健康管理」と、17項目中11項目(昨年度は8項目)もありました。授業においても、行事においても、部活動においても充実していることが分かります。また、友達との関係や教員との人間関係等、普段の学校生活においても良好であると捉えている生徒が多くいます。だれにとっても居心地がよく、さまざまな活動にのびのびと自分らしく取り組める学校を目指してまいります。

【保護者・生徒・CS委員からの意見より】

1. 学校や教員の取組を評価していただく温かいご意見をいくつもいただきました。行き届かない面もありますが、できる限り子どもたち一人ひとりに寄り添い、生徒の考えや可能性を広げられるように指導、支援を進めています。これからも誠実に、丁寧に取組を進めていきます。
2. 生徒の自転車の乗り方についてご意見をいくつかいただきました。交通安全指導については、機会があるたびに担任や部活動顧問からの指導、学年集会や学校集会等での指導を行っています。学校通信でも啓発を行っています。地域やご家庭でも積極的に声をかけていただくとありがたいです。地域やご家庭とともに子どもたちの安全意識やマナーを高めていきたいと考えていますので、ご協力をお願いします。
3. 保護者および生徒の意見に多くみられたのが、施設・設備の内容です。特にトイレについての意見が多くありました。前述しましたが、トイレの改善を含め、施設の改修については、以前より教育委員会に要望しています。少しずつは改善してはいますが、いまだ満足いくところまでには至っていません。今後も継続的に要望していきます。
4. 給食についてもいくつかのご意見をいただきました。「給食が導入され、大変ありがたい」「給食時間を延ばしてほしい」「給食の回数を増やしてほしい」などです。給食に関しては先日生徒に行ったアンケートにおいて、好意的にとらえている生徒が多いようです。給食関係者の方の努力に感謝したいと思います。また、給食の時間については、4限終了後から5分間の手洗い・準備の時間があり、その後30分間の配膳、喫食の時間があり、15分間の休憩時間を設けています。1学期の配膳・喫食の様子を見てみると、15分間の休憩時間に片付けている生徒もいましたが、配膳のスピードも上がり、現在では配膳・喫食の時間に片付けまで行えている学級がほとんどです。職員の中からは「5分間縮めても良いのではないか」という声も上がっていますが、次年度においては今年度と同様の時間帯で進めたいと考えております。時間内に食べきれない場合は休憩時間を使って食べてもよいことを、教師側から声をかけ、安心させたいと思います。給食の回数についても今年度並みで進める予定です。
5. 教員の態度や言動について気になるのご意見をいただきました。職員会議にて共有しました。具体的な内容が書かれていませんでしたので、「教員が発する言葉は発達段階の子どもたちに与える影響は大きく、自覚と責任を持って子どもたちに接すること」を確認しました。また、自身のこれまでの態度を振り返り、気になる言動は改善するとともに、お互いに指摘し合える職員室の雰囲気を作っていくことも確認しました。セクハラやパワハラについての研修も行いました。お子さまのことで何か気になることがありましたら、学校までご連絡をお願いします。

6. 授業について、保護者からいくつかご意見をいただきました。「授業が分かりにくい」「学年で指導者が違う場合は綿密な打ち合わせをしてほしい」「宿題を出してほしい」などです。授業づくりについては少しでも生徒が主体的に取り組めるよう、教科部会を中心に教材研究や打ち合わせを行っています。また、同一教科での打ち合わせについては、これまでも行ってきますが、再度、丁寧に打ち合わせをするよう、確認を行いました。宿題についても年度初めに研修委員会を中心に確認を行っていますが、ご意見を受け、もう一度、宿題の出し方等について確認を行いました。家庭学習については（A）与えられた内容を行う宿題と、（B）生徒自身が自分の課題や目標をもとに、自主的、計画的に取り組む自主学習があります。（A）も与えつつ、（B）に取り組めるよう、指導・支援していきたいと思えます。
7. 保護者の意見の中に「教科書を使ってほしい」という内容のものがありませんでした。授業を進めていく上で教科書は中心となりますし、教科書を使って授業を進めるよう指示されていますので、再確認を行いました。ただ、教科書に書かれている内容を教師主導で教えていくような授業では、知識は身につくかもしれませんが、生徒が主体的に取り組む姿勢や教科の見方・考え方を養うことは難しいと考えます。また、生徒が自ら発見する楽しさを味わえないこともあります。そこで、教科書や教科書の行間に書かれていることを教師が十分に教材研究し、生徒が主体的に、そして、仲間とともに協働的に解決していくような授業づくりを行っていくことも再確認しました。
8. 生徒からは校則についての意見が複数ありました。生徒指導委員会でも校則の見直しを進めています。また、生徒会の取組の一つとして生徒の意見を取り入れ、見直しを進めています。今年度は頭髪のルールについて議論を進めており、年度末までに生徒投票を行う予定です。来年度以降も生徒会を中心に積極的に見直しを進めていきたいと思えます。
9. 保護者から「部活動で専門的な指導がなされていない部がある」との意見がありました。今年度は、全ての部ではありませんが、ほとんどの部活動で、教員が学生時代に経験していた競技等を担当することができています。これは教員にとっても、生徒にとっても幸運なことではありますが、このような状況は大変稀（まれ）です。実際、私が学生時代に競技していたスポーツの担当になったのはたったの4年で、競技したことがない運動部や専門的な知識のない文化部の顧問を20年以上担当してきました。経験したことのない競技等の担当になることは大変大きな負担でしたが、子どもたちのためにと、一生懸命勉強し、子どもたちと相談しながら進めてきました。また、来年度は学級減により教員数が減る可能性も高く、今年度のような恵まれた状況にはならない可能性が高いです。教員もできる範囲で子どもたちが意欲的に取り組めるように関わっていきますが、行き届かないところはあります。ご理解いただくとともに、子どもたちが部活動に主体的に取り組めるよう、ご家庭でもお話しください。
10. 保護者から「校則がよく分からない」とのご意見もいただきました。以前は冊子で配付をしておりましたが、今年度からホームページに掲載するようにしました。タブレットやPCでご覧になる場合は、画面左側の「メニュー」で「生徒指導」→「生活の手引き」を選んでください。スマホ等でご覧になる場合は、画面上部の「メニュー」をタッチしていただき「パブリックスペース」→「パブリックスペース」→「生徒指導」→「生活の手引き」を選んでください。そうすると「2023生活の手引き.pdf」となりますので、ダウンロードしてご覧ください。
11. CS委員からは、生徒が一生懸命に授業や部活動に取り組んでいる様子をほめていただいたり、地域でのあいさつや小学生に道を譲るなどの心配りが見られたりするなどのお褒めの声もいただきました。このような声は積極的に発信し、生徒に返していきたいと考えています。一方で、登下校時の自転車の交通ルール（ノーヘルや交差点での飛び出し、広がっての走行等）が守れていない生徒がおり、心配の声もいただいています。学校でも継続的に、生徒へ啓発や指導を行っていくとともに、保護者への協力を依頼していきます。
12. CS委員からは施設や設備の改善・改修についての意見をいただきました。特にトイレについては、生徒からも多くの声があがっていることに加え、大震災が起きた際、学校は避難所となるため、その視点もふまえ、早急に取り組むべき事項とし、教育委員会に強く要望して欲しいとご意見をいただきました。トイレ以外にも、西校舎の水道の口数の少なさについても心配の声をいただきました。今年度から給食がスタートし、食事前の手洗いはかなり混雑しています。このことは給食開始前から予想されており、昨年度から要望をしております。階段の踊り場に水道を新設するよう、引き続き要望してまいります。

先日、地域の会議に出席しました。その中で、長年、小中学生の登校の見守りをされている方が次のようなことをおっしゃいました。「私たちは、ボランティアで子どもたちの見守りをしています。寒い日や暑い日もあり、なにかと大変なんです。子どもたちが元気に登校していく姿を見ているとその大変さも吹き飛びます。中には、生徒さんのほうから『おはようございます』とあいさつをしてくれる子もいて、とてもうれしく、また頑張ろうという気持ちもわいてきます。」

「おはようございます」や「ありがとうございます」は、短い言葉ですが、人の心を元気づけるとても素敵な言葉です。朝から地域の人にたくさんの「元気玉」を受け取ってもらいましょう。

令和5年 学校教育診断集計

※評価数値は4段階評価の平均値 ⇒ 4:よくあてはまる 3:だいたいあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:あてはまらない

領域	診断内容	項目	設問内容	本年度	前年度	前年比	
教育目標	学校教育目標・学校づくりビジョンの適正	教職員 1	学校教育目標・学校づくりビジョンは生徒たちの実態に即した適切なものである。	3.4	3.2	↑0.2	
		生徒					
		保護者 1	学校教育目標・学校づくりビジョンは生徒たちの実態から見て適切なものである。	3.1	3.1	⇒0.0	
	学校教育目標・学校づくりビジョンの実現に向けた努力	教職員 2	学校教育目標・学校づくりビジョンの実現に向けて適切な取り組みを行なっている。	3.3	3.2	⇒0.1	
		生徒 1	先生たちは、山手中を「よい学校」にするために取り組んでいる。	3.4	3.3	⇒0.1	
		保護者 2	学校の教育活動は、全体的に見て満足できる状態にある。	3.1	3.1	⇒0.0	
学習面	わかる授業	教職員 3	学力の定着を図るため、指導内容の精選や授業改善・工夫をしている。	3.2	3.3	⇒0.1	
		生徒 2	先生たちは、授業をていねいに分かりやすく教えてくれる。	3.4	3.4	⇒0.0	
		保護者 3	生徒は、授業をていねいに分かりやすく教えてもらえると話している。	2.8	2.9	⇒0.1	
	特色ある教育課程の編成	教職員 4	特色ある教育課程となるよう、3Wやボランティア活動等の工夫に取り組んでいる。	3.0	3.1	⇒0.1	
		生徒 3	学校では、総合的な学習(地域学習や職場体験学習等)や行事等、意欲的に取り組める内容がよく行われている。	3.4	3.2	↑0.2	
		保護者 4	生徒は、総合的な学習(地域学習や職場体験学習等)や行事等、意欲的に取り組んでいる。	3.2	3.1	⇒0.1	
	道徳や人権・同和教育の充実	教職員 5	「心の教育」の充実のため、道徳や人権・同和教育、行事の充実に努力している。	3.2	3.1	⇒0.1	
		生徒 4	命の大切さや社会のルール、人権教育等についてよく学習している。	3.6	3.5	⇒0.1	
		保護者 5	学校は、命の大切さや社会のルール、人権を大切に子どもを育てようとしている。	3.1	3.1	⇒0.0	
	進路指導の充実	教職員 6	キャリア教育の視点を取り入れ、3年間を見通した進路指導や情報提供を行っている。	3.2	3.2	⇒0.0	
		生徒 5	将来の進路や職業について学習や体験をしたり、進路について考えたりしている。	3.2	3.2	⇒0.0	
		保護者 6	生徒は、将来の進路や職業について学習や体験をしたり、進路情報を知らせてもらったりしている。	3.0	2.9	⇒0.1	
	適切な評価	教職員 7	学習等における生徒の能力や努力、学力を適切に評価している。	3.3	3.3	⇒0.0	
		生徒 6	先生たちは、学習の取り組みをきちんと評価してくれる。	3.4	3.4	⇒0.0	
		保護者 7	学校は、学習等における生徒の能力や努力、学力などを適切に評価している。	2.9	3.0	⇒0.1	
	「朝の読書」の有効性	教職員 8	「朝の読書」は、生徒たちの基本的な生活習慣づくりや興味付けに役立っている。	3.1	3.1	⇒0.0	
		生徒 7	「朝の読書」で読書に興味が高まった。	2.9	3.1	↓0.2	
		保護者 8	「朝の読書」は、読書の興味付けに役立っている。	3.0	3.0	⇒0.0	
	生活面	充実した学校生活	教職員 9	生徒は、のびのびと学び、充実した学校生活を送っている。	3.3	3.4	⇒0.1
			生徒 8	学校生活は楽しい。	3.4	3.4	⇒0.0
			保護者 9	生徒は、学校生活を楽しく送っている。	3.3	3.2	⇒0.1
		生徒指導上の問題への対応	教職員 10	いじめや暴力等に毅然とした態度で対応し、人間関係づくりに組織的に取り組んでいる。	3.5	3.4	⇒0.1
			生徒 9	先生たちは、いじめや友達関係等の問題について対応してくれる。	3.4	3.3	⇒0.1
			保護者 10	学校は、いじめ等のない温かい人間関係づくりに取り組んでいる。	3.0	3.0	⇒0.0
教育相談等、生徒との関わり		教職員 11	生徒とのふれ合いを大切にして、生徒の心に寄り添う生徒指導、教育相談に努めている。	3.5	3.5	⇒0.0	
		生徒 10	先生たちは、教育相談等を通じて、自分の悩み等に親身になって接してくれる。	3.4	3.4	⇒0.0	
		保護者 11	学校は、生徒の悩みや問題に親身になって接してくれる。	3.0	2.9	⇒0.1	
部活動の充実		教職員 12	生徒の主体性を重んじた、部活動の指導に取り組んでいる。	3.3	3.3	⇒0.0	
		生徒 11	部活動は楽しく充実している。	3.5	3.4	⇒0.1	
		保護者 12	生徒は、部活動に楽しく参加している。	3.2	3.1	⇒0.1	
自立した社会性の育成		教職員 13	社会のルールとともに、時や場所に応じた言動や挨拶について、様々な領域において指導している。	3.5	3.4	⇒0.1	
		生徒 12	いろいろな活動を通じて、社会のルールや言葉遣い、挨拶等について学んでいる。	3.5	3.5	⇒0.0	
		保護者 13	生徒は、社会のルールとともに、時や場所に応じた言動や挨拶について学んでいる。	3.1	3.1	⇒0.0	
家庭や地域の信頼に応える学校づくり		体力の向上 健康管理	教職員 14	健康で健全に生きるための心構えや知識を、生徒に指導している。	3.3	3.4	⇒0.1
			生徒 13	健康で健全な生活を送ろうと心掛けている。	3.5	3.5	⇒0.0
			保護者 14	学校の教育活動は、生徒の健康で健全な生活習慣を身につけるのに、役立っている。	3.2	3.1	⇒0.1
	危機管理体制 (安全対策)	教職員 15	安全計画を立て、日常的な安全指導や不審者情報等に対処できる体制が整っている。	3.2	3.2	⇒0.0	
		生徒 14	災害や不審者等への心構えはできている。	3.2	3.3	⇒0.1	
		保護者 15	学校は、生徒が安心して学校生活を送れるよう安全に配慮している。	3.2	3.2	⇒0.0	
	学校施設・設備の環境 整備、有効活用	教職員 16	学校の施設や設備は、学習環境として整備され、有効に活用されている。	2.5	2.6	⇒0.1	
		生徒 15	学校の施設や設備は、活動をする上で使いやすいよう改善されている。	3.1	3.0	⇒0.1	
		保護者 16	学校の施設や設備は、活動をする上で使いやすいよう改善されている。	2.8	2.8	⇒0.0	
	保護者や地域の人たちとの連携	教職員 17	保護者や地域の人たちと連携し、「地域とともにある学校づくり」に取り組んでいる。	3.3	3.3	⇒0.0	
		生徒 16	総合的な学習の時間や福祉体験教室等の行事を通じて、社会や地域の人たちと接する機会が増えてきている。	3.0	2.8	↑0.2	
		保護者 17	学校は、保護者や地域に学校を公開し、生徒と地域の交流の機会をよく設けている。	3.1	2.9	↑0.2	
	情報発信の努力	教職員 18	学校・学年・学級通信等で、学校の様子や活動等を保護者や地域によく伝えている。	3.5	3.4	⇒0.1	
		生徒 17	学校ホームページや学校通信等の内容は、学校の様子や行事の様子等が分かりやすい。	3.3	3.2	⇒0.1	
		保護者 18	学校は、ホームページや学校通信等で、学校の様子や行事等の連絡を分かりやすく伝えている。	3.4	3.3	⇒0.1	
	情報受信の努力	教職員 19	教育活動や地域の行事等を通して、生徒や保護者、地域の人たちの願いを掴むように努力している。	3.2	3.3	⇒0.1	
		生徒					
			保護者 19	学校は、生徒や保護者、地域の人たちの願いや思いを受け止める努力をしている。	3.1	3.0	⇒0.1